

# 千葉県における年平均気温などの 経年変化と将来予測

2025年（令和7年）12月19日  
銚子地方気象台



気象庁マスコットキャラクター  
はれるん～千葉バージョン～

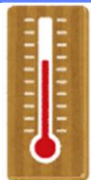
産業経済活動の活発化に伴い、温室効果ガス（二酸化炭素やメタンなど）が多く排出されており、地球温暖化の進行とみられる気候変動により、気温が上昇しています。また、近年の夏の異常な高温により熱中症による搬送者数の増加、亡くなる方も高止まりしています。

本日は、今夏の高温状況と要因に加え、千葉県の主な観測地点で平均気温や最高気温がどのように変化してきているのか？といった観測事実や将来の年平均気温の予測、熱中症に対する備えについて説明します。

- 今夏の高温の状況（千葉における気温や真夏日・猛暑日日数含む）
- 令和7年夏の記録的な高温と7月少雨となった要因
- 千葉県の年・月別平均気温や最高気温の変化と千葉県の将来予測
- 熱中症に備える

# 今夏の高温の状況と要因

# 2025年夏の顕著な高温の状況



※関東甲信地方の最近10年間の6～8月と7～9月  
平均気温平年差（統計：1946年～）

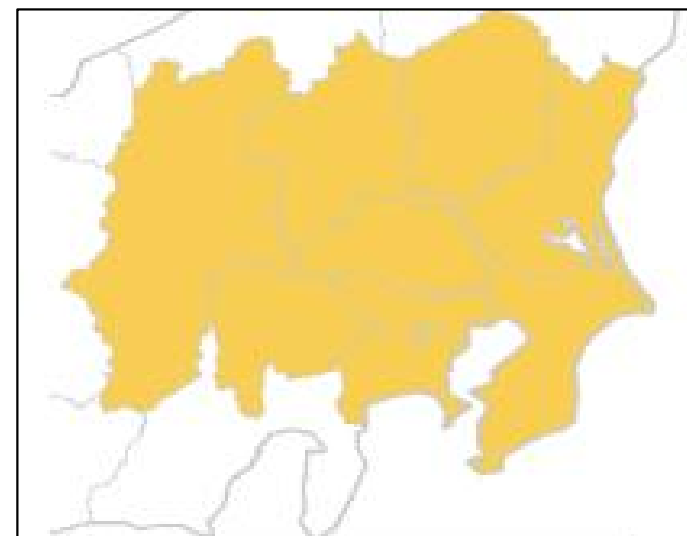
6～8月

7～9月

年	関東甲信	極値 順位
2025	+2.4	1位
2024	+1.8	2位
2023	+1.8	3位
2022	+0.9	7位
2021	+0.4	
2020	+0.7	9位
2019	0.0	
2018	+1.3	4位
2017	+0.3	
2016	+0.2	

年	関東甲信	極値 順位
2025	+2.5	2位
2024	+2.6	1位
2023	+2.5	3位
2022	+1.0	6位
2021	0.0	
2020	+0.6	
2019	+0.6	
2018	+1.0	7位
2017	+0.1	
2016	+0.4	

※関東甲信地方：  
東京都、栃木県、群馬県、  
埼玉県、茨城県、千葉県、  
神奈川県、長野県、山梨県



かなり低い    低い    平年並    高い    かなり高い

# 2025年夏の顕著な高温の状況

千葉の観測史上1～3位の値（6～9月の月平均気温高い方から）

要素／順位	1位	2位	3位	統計期間
6月の月平均気温の高い方から(℃) 年月	24.8 (2025/6)	23.5 (2023/6)	23.4 (2020/6)	1966年6月 2025年6月
7月の月平均気温の高い方から(℃) 年月	28.8 (2024/7)	28.3 (2023/7)	28.2 (2025/7)	1966年7月 2025年7月
8月の月平均気温の高い方から(℃) 年月	29.5 (2025/8)	29.4 (2023/8)	29.2 (2024/8)	1966年8月 2025年8月
9月の月平均気温の高い方から(℃) 年月	27.1 (2023/9)	27.0 (2024/9)	26.8 (2025/9)	1966年9月 2025年9月

2025年6～9月の千葉の毎月の平均気温、平年差と3か月の平年差

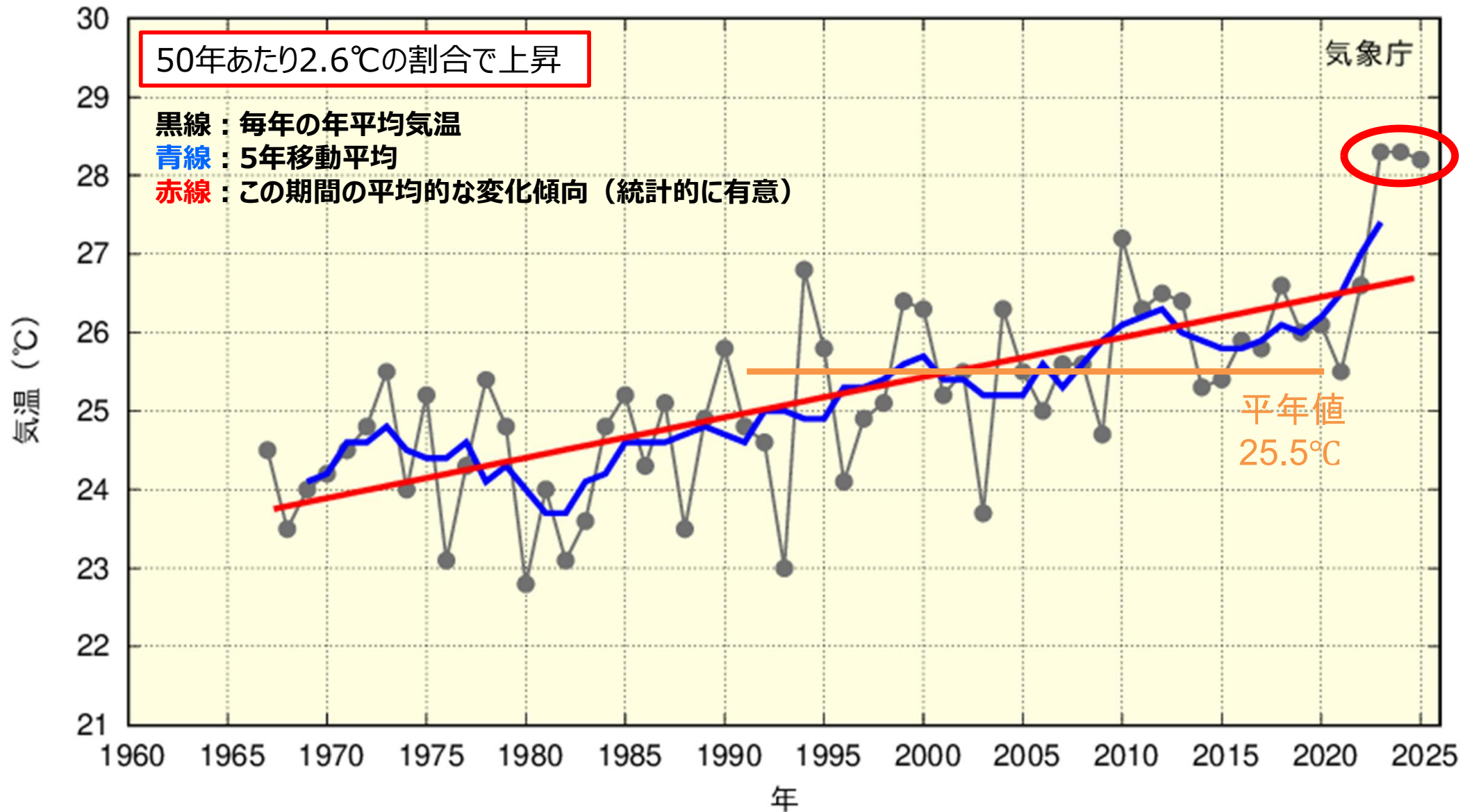
要素／月	6月	7月	8月	9月	6～8月	7～9月
月平均気温（観測値）	24.8	28.2	29.5	26.8	27.5	28.2
月平均気温（平年値）	21.9	25.7	27.1	23.8	24.9	25.5
平年差	+2.9	+2.5	+2.4	+3.0	+2.6	+2.7

かなり低い 低い 平年並 高い かなり高い

# 千葉の7～9月(3か月)の平均気温の変化

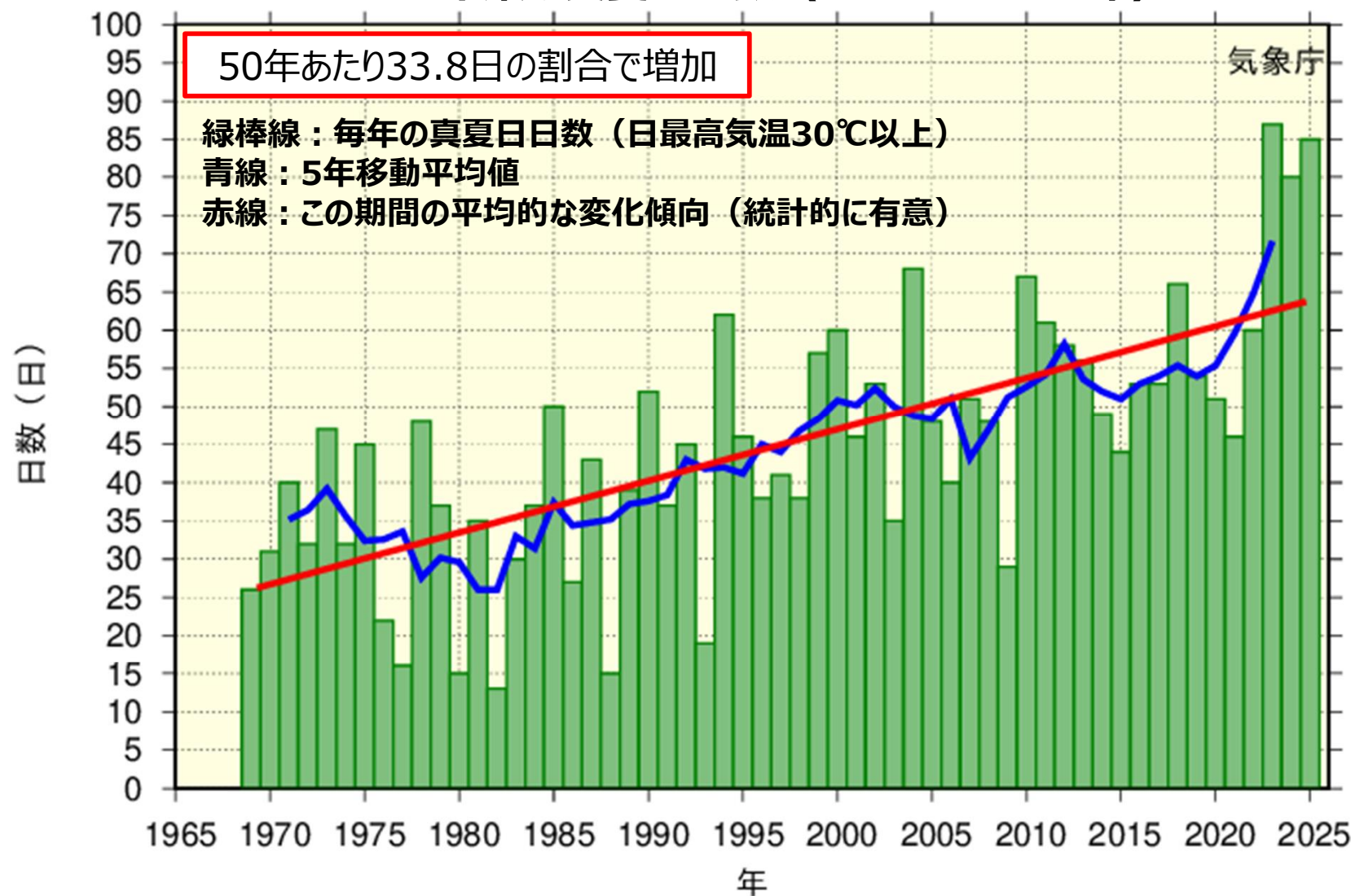
千葉の7～9月（3か月）の平均気温の長期変化傾向は、50年あたり2.6℃の割合で上昇しています。

## 7～9月の千葉の平均気温の変化（1967～2025年）



千葉の真夏日日数の長期変化傾向は、50年あたり33.8日の割合で増加しています。

## 千葉の真夏日日数（1969～2025年）

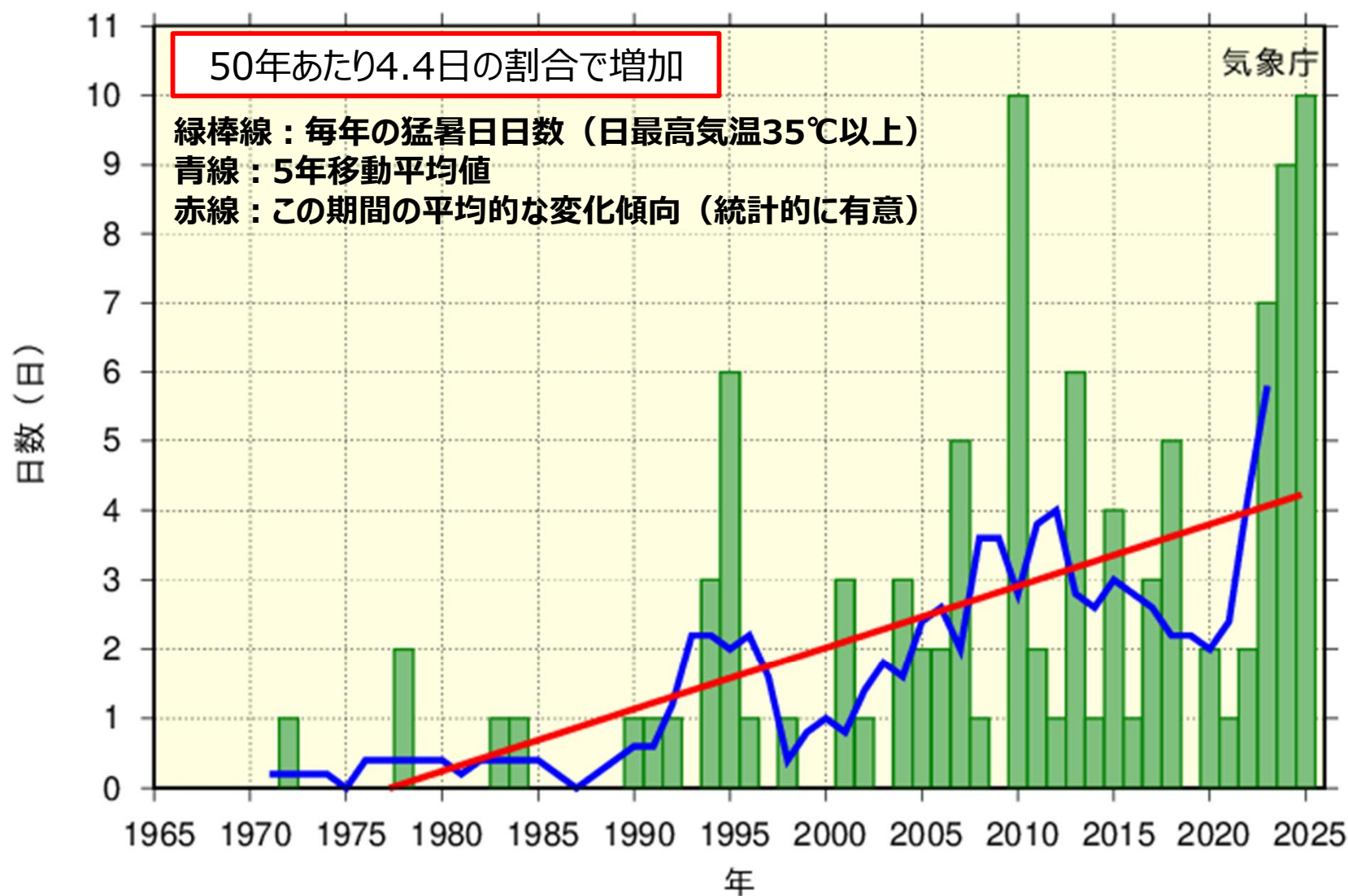


※2025年の日数は11月  
末日の統計値で処理



千葉の猛暑日日数の長期変化傾向は、50年あたり4.4日の割合で増加しています。

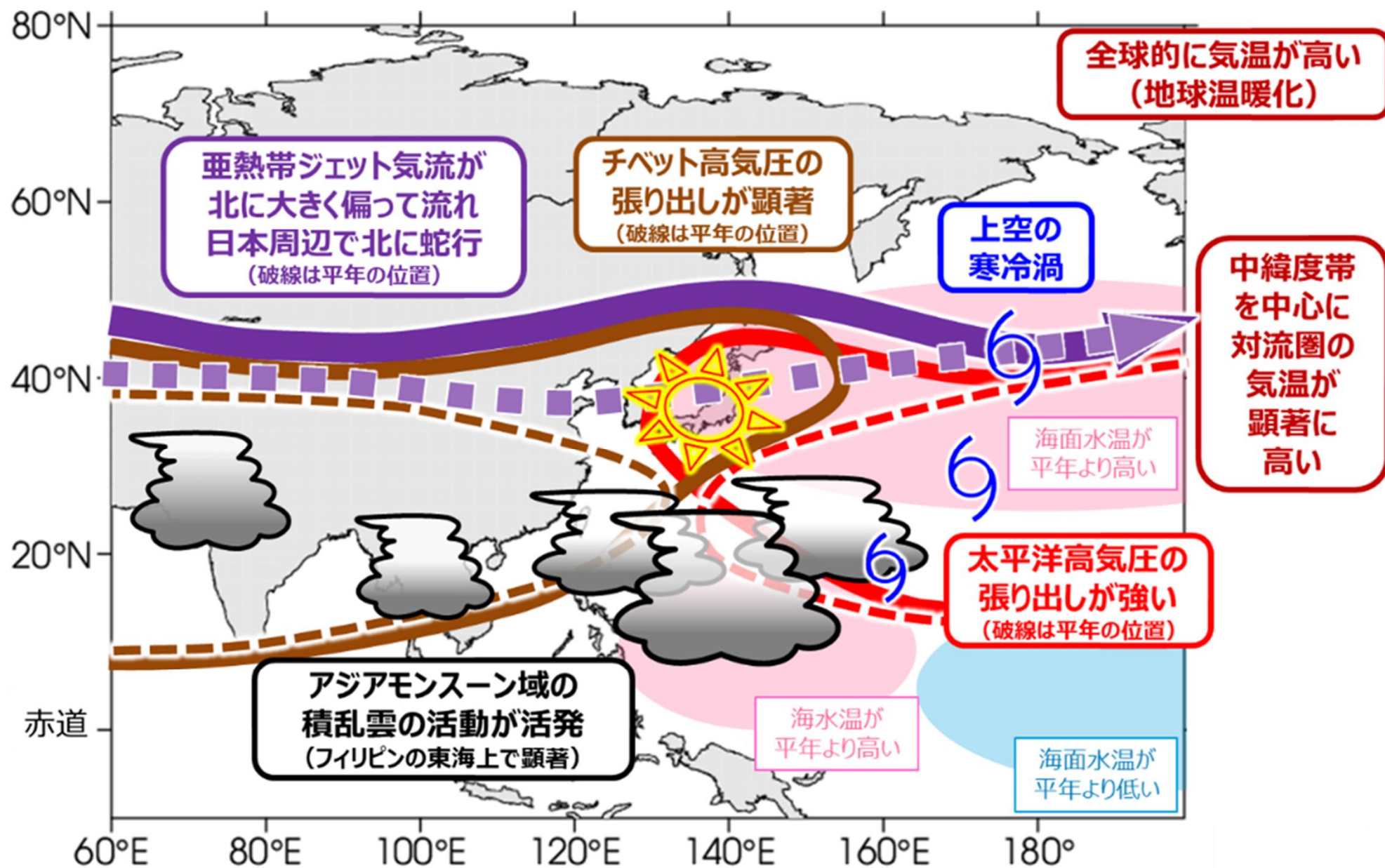
## 千葉の猛暑日日数（1969～2025年）



※2025年の日数は11月  
末日の統計値で処理



# 令和7年夏の記録的な高温と7月少雨となった要因



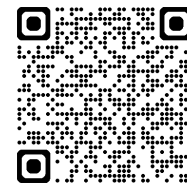
出展：気象庁報道発表（令和7年9月5日）

令和7年夏の記録的な高温と7月の少雨の特徴およびその要因等について  
～ 異常気象分析検討会による分析結果の公表 ～

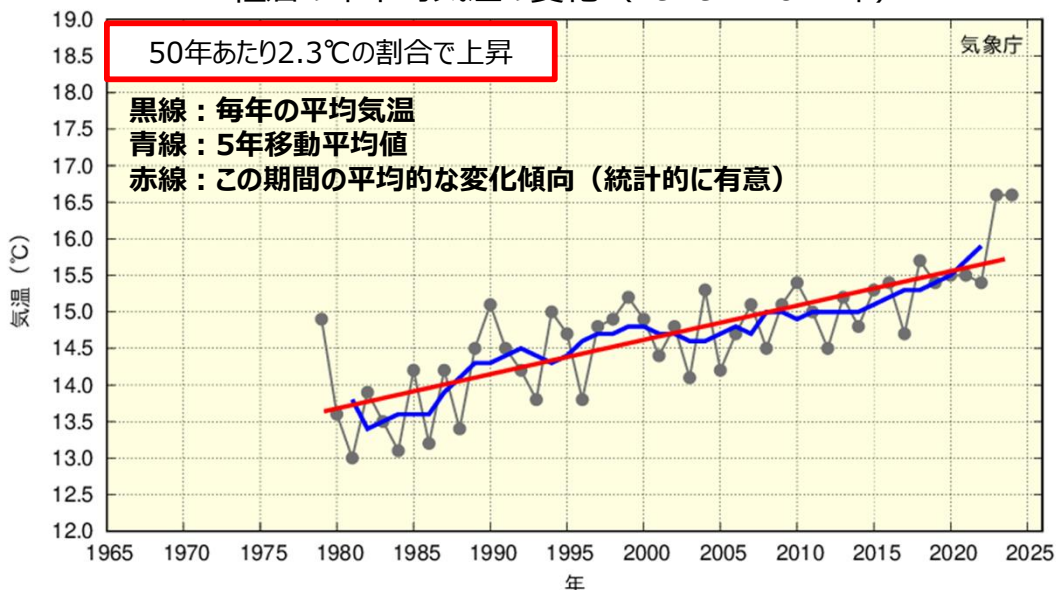
# 千葉県の子・月平均気温、最高気温の上昇と 千葉県の年平均気温の将来予測

# 千葉県内の主な観測地点における年平均気温の変化

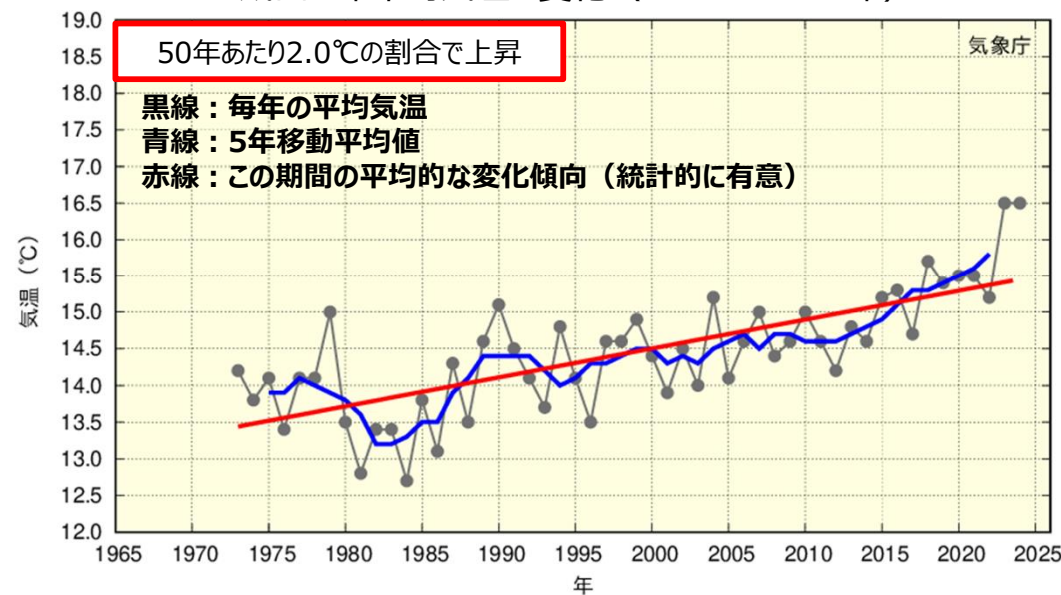
年平均気温は、県内全ての観測所で様々な変動を繰り返しながら上昇しています。長期変化傾向は、佐倉と千葉は50年あたり2.3℃、銚子は50年あたり1.8℃、成田は50年あたり2.0℃の割合で上昇しています。



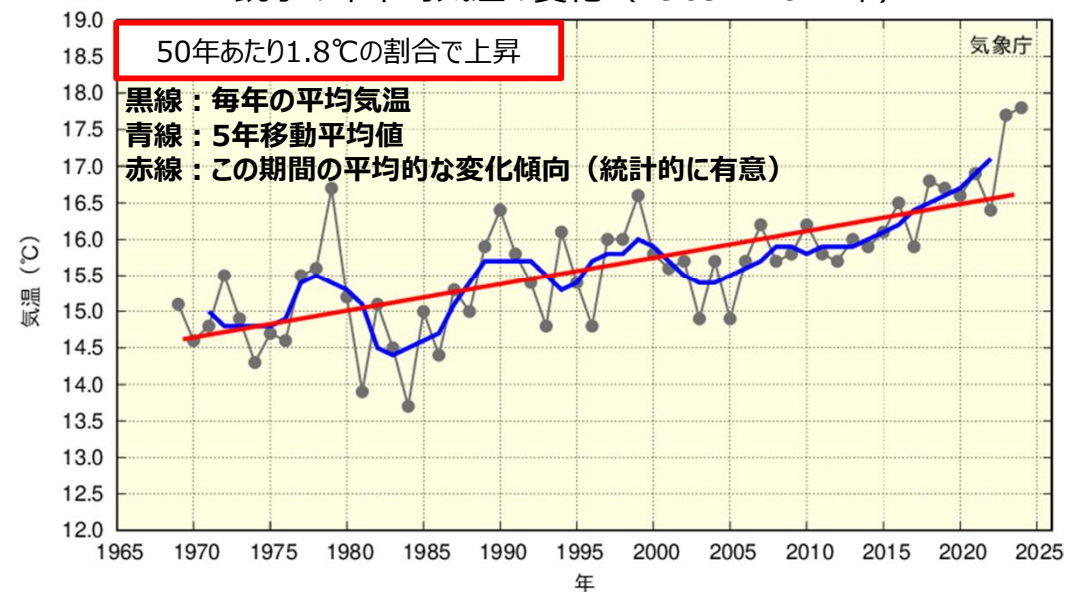
## 佐倉の年平均気温の変化（1979～2024年）



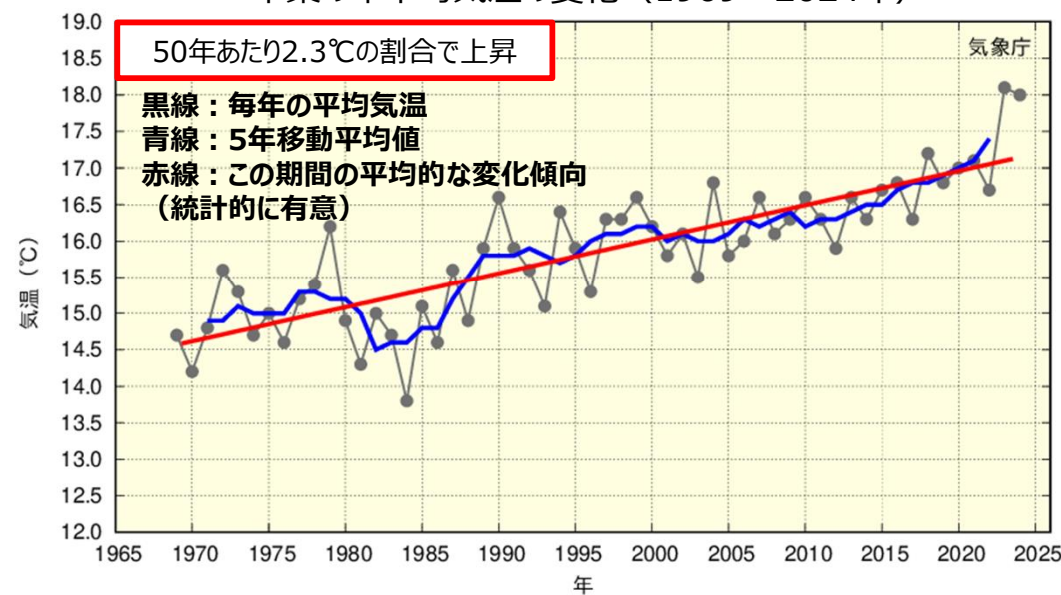
## 成田の年平均気温の変化（1973～2024年）



## 銚子の年平均気温の変化（1969～2024年）



## 千葉の年平均気温の変化（1969～2024年）





月平均気温どの月が上昇している？

季節・月 観測所名	冬				春				夏				秋		年間
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月			
佐倉	1.1	1.3	2.2	3.4	2.1	2.3	2.3	3.8	2.9	2.5	1.8	1.9	2.3		
成田	1.6	1.5	2.2	3.2	1.3	1.7	1.5	2.4	1.8	1.9	1.9	1.9	2.0		
銚子	1.3	1.1	1.6	3.0	1.7	1.6	2.0	2.2	2.2	1.8	1.8	1.8	1.8		
千葉	1.9	1.8	2.4	3.7	2.0	2.0	2.1	2.8	2.2	2.5	2.5	2.5	2.3		
平均	1.5	1.4	2.1	3.3	1.8	1.9	2.0	2.8	2.3	2.2	2.0	2.0	2.1		

夏から秋、最高気温はどの月が上昇している？

季節・月 観測所名	夏			秋		
	6月	7月	8月	9月	10月	11月
佐倉	3.3	3.7	4.7	2.4	3.6	1.6
成田	2.3	1.7	1.9	-	2.9	-
鉾子	2.7	2.5	3.1	1.9	2.9	0.9
千葉	2.7	3.4	2.9	1.5	3.9	1.3
平均	2.8	2.8	3.2	1.9	3.3	1.3

単位：℃

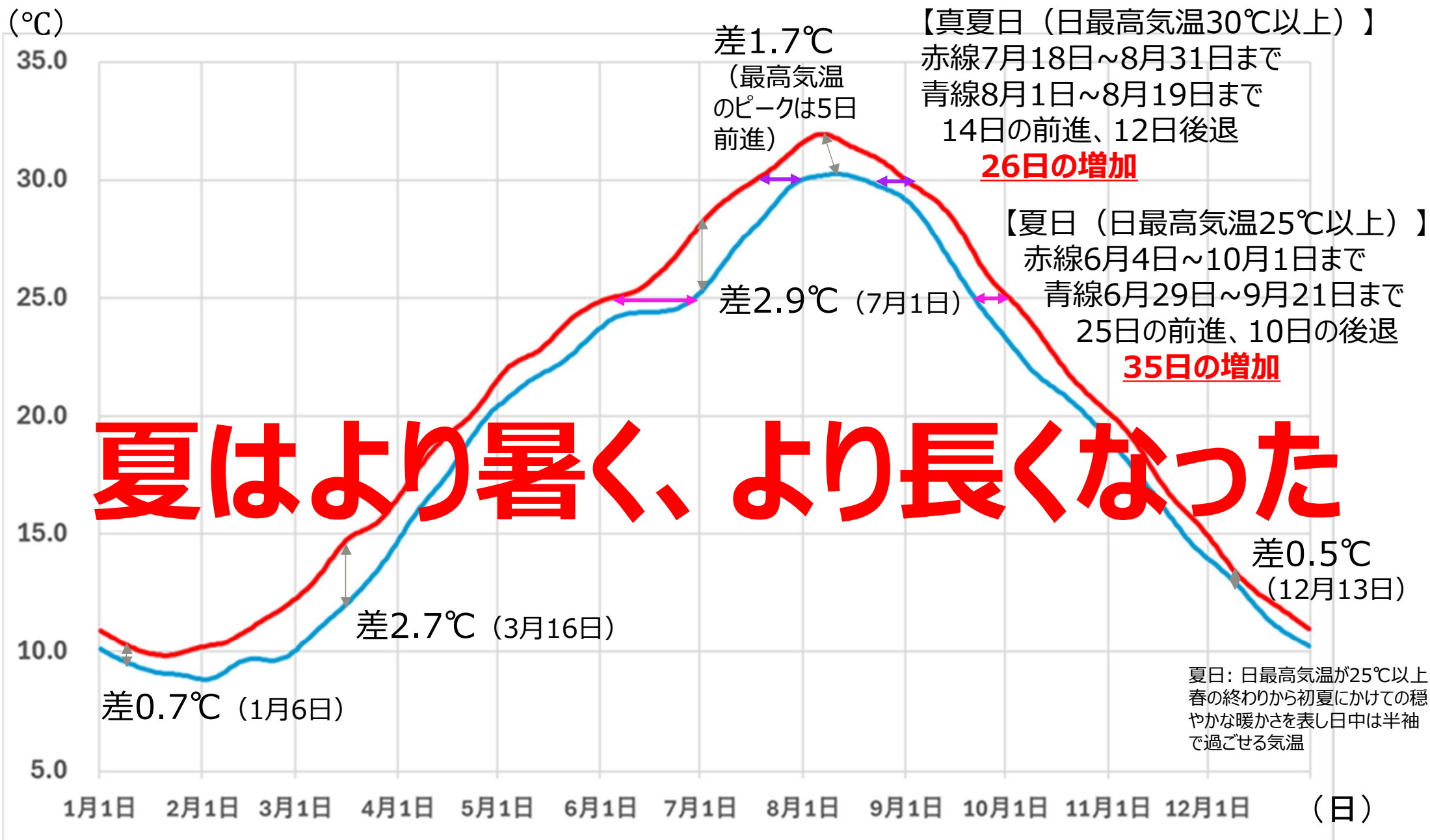
上昇量：50年あたりで算出

統計年：鉾子、千葉は1969年～、成田は1973年～、佐倉は1979年～

検定：各月・年のデータは検定を実施。－は変化傾向は見られない。上昇量が記載されている月・年は、信頼度水準90%以上で統計的に有意

鉾子地方気象台の調査結果より

# 千葉の日最高気温平均の年間の推移



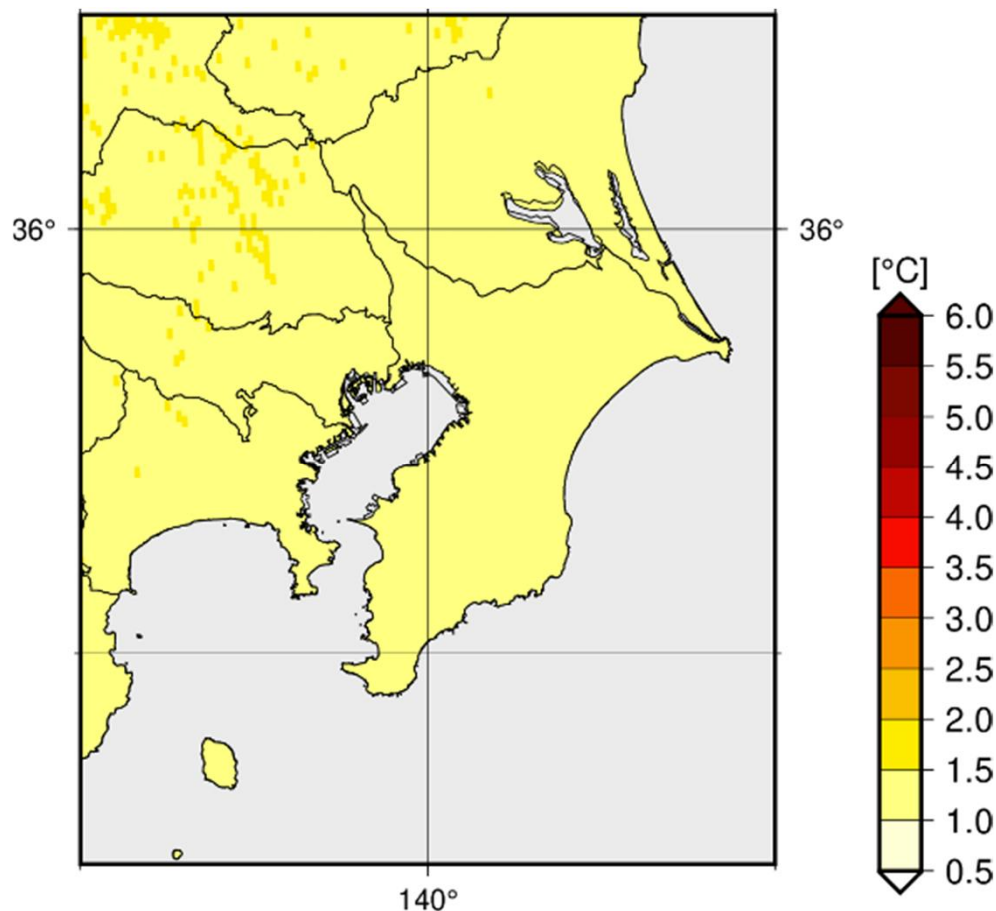
赤線 (1997～2024年)

青線 (1969～1996年)

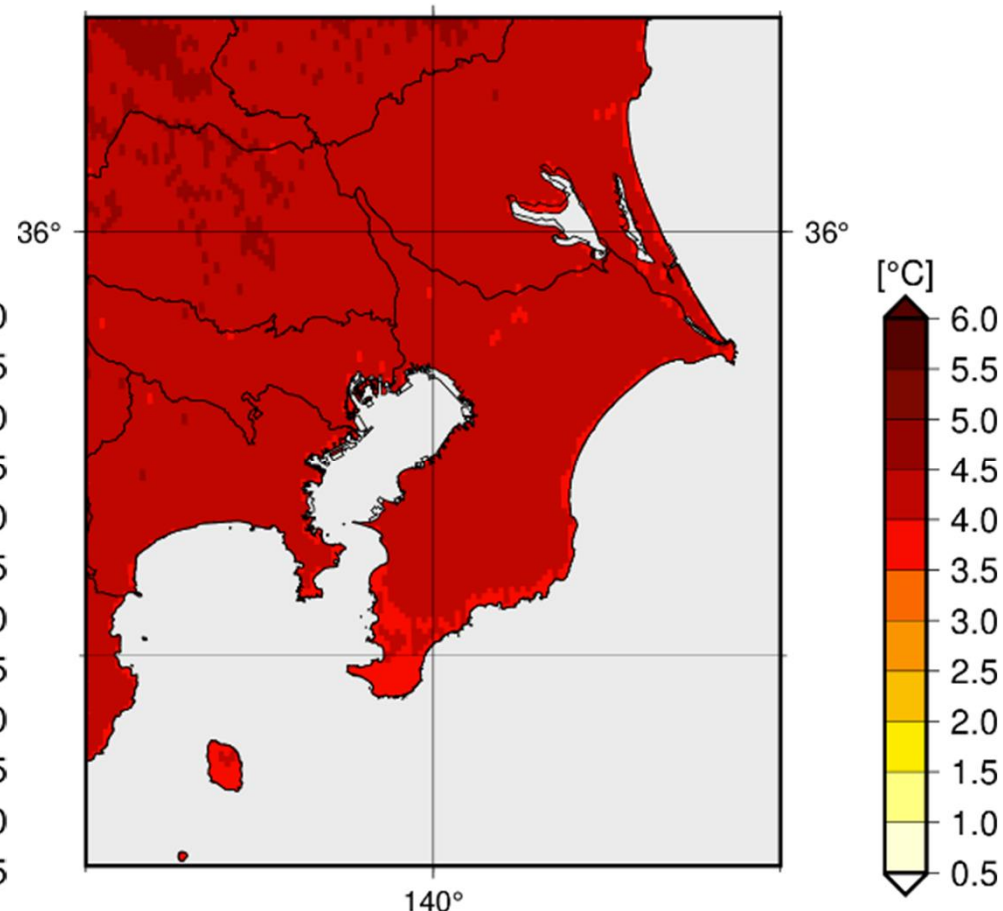
銚子地方気象台の調査結果より

千葉県年平均気温の21世紀末の予測(2076～2095年)は、20世紀末(1980～1999年の平均)と比べて、パリ協定の2℃目標が達成された世界に相当するシナリオで約1.3℃、追加的な緩和策を取らなかった世界に相当するシナリオで約4.1℃上昇する予測となっています(ともに千葉県平均。下図参照)。

現時点における千葉の年平均気温の平年値は、16.2℃です。21世紀末に約4℃上昇とした場合、現在の鹿児島県種子島の年平均気温(平年値19.8℃)に相当する気温になります。



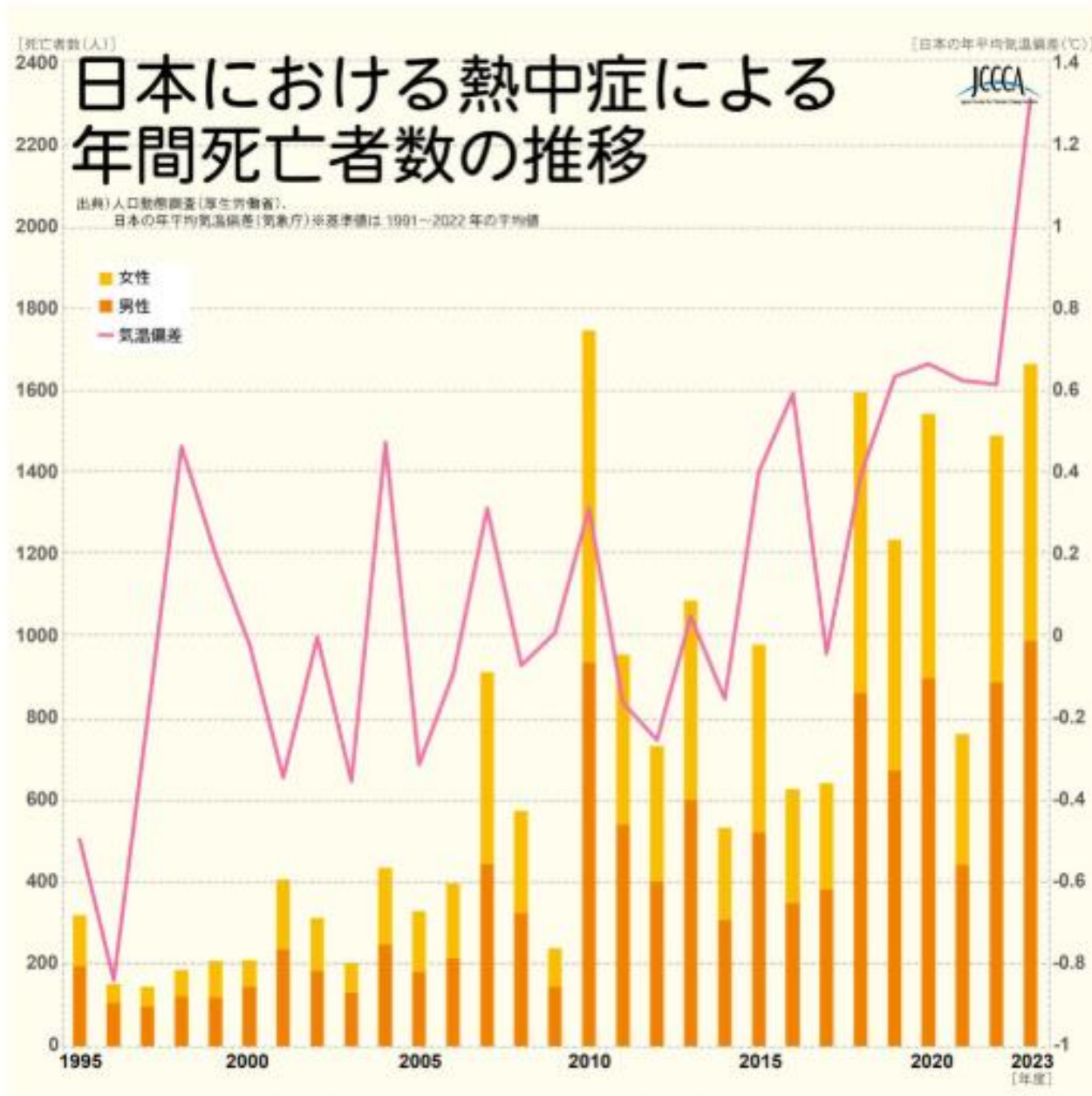
※パリ協定の2℃目標が達成された世界に相当するシナリオ「2℃上昇シナリオ」:  
将来の世界平均気温が、工業化以前(1850～1900年)と比べて約2℃上昇することが想定されているシナリオ



※追加的な緩和策を取らなかった世界に相当するシナリオ「4℃上昇シナリオ」:  
将来の世界平均気温が、工業化以前(1850～1900年)と比べて約4℃上昇することが想定されているシナリオ

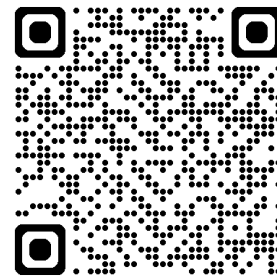


# 熱中症に備える



- 熱中症による死亡者は
- ・近年1200名を超える年が多い
  - ・約8割は65歳以上
  - ・女性より男性の方が多い傾向

熱中症警戒アラートでの予測は、暑さ指数（WBGT（湿球黒球温度：Wet Bulb Globe Temperature））というものを利用して発表しています。



このWBGTは、人間の熱バランスに影響の大きい「気温」、「湿度」、「輻射熱」の3つを取り入れた温度の指標のことです。

**湿度**が高い場所では汗が蒸散しにくいいため、身体から空気へ**熱**を放出する能力が減少してしまいます。

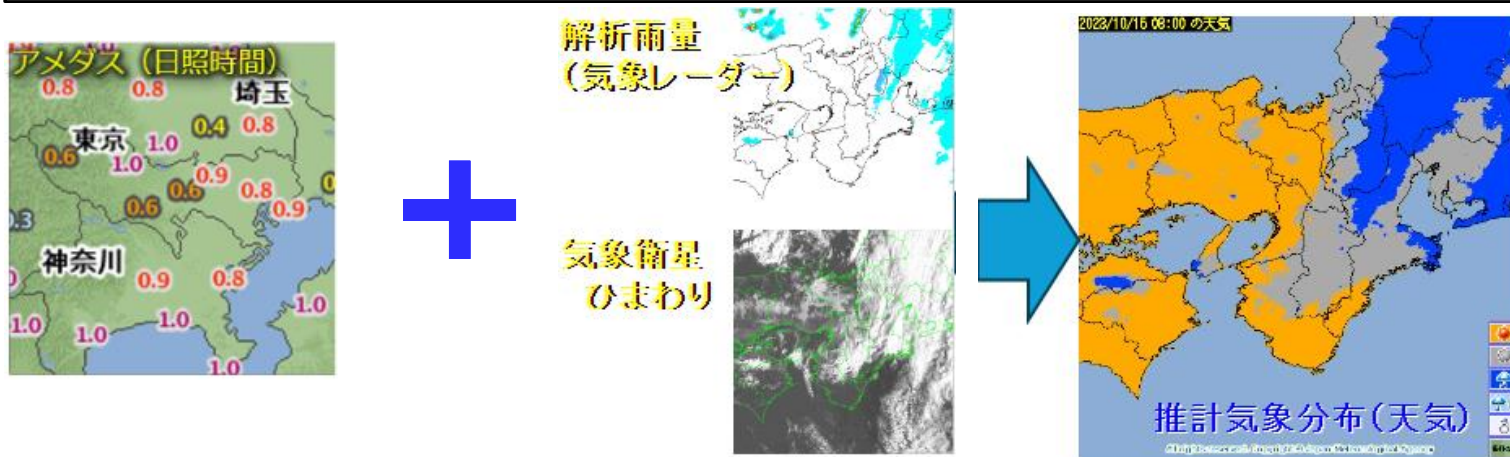
環境省熱中症予防情報サイトでは、暑さ指数（WBGT）の47地点の実測値と794地点の実況推定値を提供しています。

暑さ指数（WBGT）の予測式は、気温、相対湿度、平均風速、全天日射量は、気象庁の数値予報データの気温、相対湿度、平均風速、日射量の予測値で計算しています。



実際の観測の様子

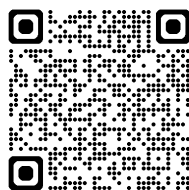
面的気象情報の格子ごとの数値をもとに、全国の任意の地点における降水量や気温、天気といった気象状況を具体的な数値として表示することができるツールです。



全国約1300地点（約17km間隔）に設置されているアメダス（地域気象観測システム）に、気象レーダーや気象衛星などの観測を組み合わせ、1 km<sup>2</sup>で解析したデータを利用しています。地図から知りたい地点を選ぶと、現在の天気、気温、風、日照時間、降水量などを表示できます。また、翌日までの予測や年初からの積算気温、降水量、日照時間なども見られる他に雷注意報や熱中症警戒アラートなどの通知機能を備えています。

詳細は、以下銚子地方気象台ホームページピックアップ情報から確認できます。

<https://www.data.jma.go.jp/choshi/>



アプリの画面

- 千葉県内の気温は、様々な変動を繰り返しながら上昇している
- 最近10年の夏の気温は、高温傾向が顕著。夏の期間に限れば、2022年以降、毎年かなりの高温、残暑も厳しい
- 夏は、より暑くなっており、長くなっている  
→従来より早い時期から熱中症対策を万全に
- 今世紀末にかけて年平均気温は上昇する予測
- 熱中症に備えるためには、熱中症警戒アラート、デジタルアメダスアプリの活用を！